

笑顔いっぱい 清里っ子



学校再開



荒尾市立清里小学校便り
第3号
R2. 6. 18 (木)
文責 立石 毅

6月1日(月)から学校が再開し、子どもたちの笑顔と笑い声が学校にもどってきました。学校が生きかえた感じがしてとてもうれしくなりました。

6月の1週目は、午前中授業で給食を食べて下校、2週目からは、通常授業となりました。ただ、臨時休業前と違って、新しい生活様式での再スタートです。「3密」をさける様々な対策をとり、手洗い・消毒を徹底し、各家庭にも健康チェックカード(朝の検温と体調の記入)を書き添えての学校生活です。

新型コロナウイルス感染拡大が収束するまで、気を緩めず、子どもたちの健康・安全を第一に考えていきます。



学校生活の様子です



朝、健康チェックカードで家庭での検温と体調の記入のチェックをします。

こまめに手洗いと消毒をします。給食当番の子が消毒をしているところです。



椅子に座ったとき、隣同士、前後とも1m以上離して座ります。学び合いは机を動かさず、その位置でマスクをして行います。教室の上の窓は常に開けていて、休み時間には窓を全部開けて換気をします。

体育の授業では、間隔を広く取って運動をします。



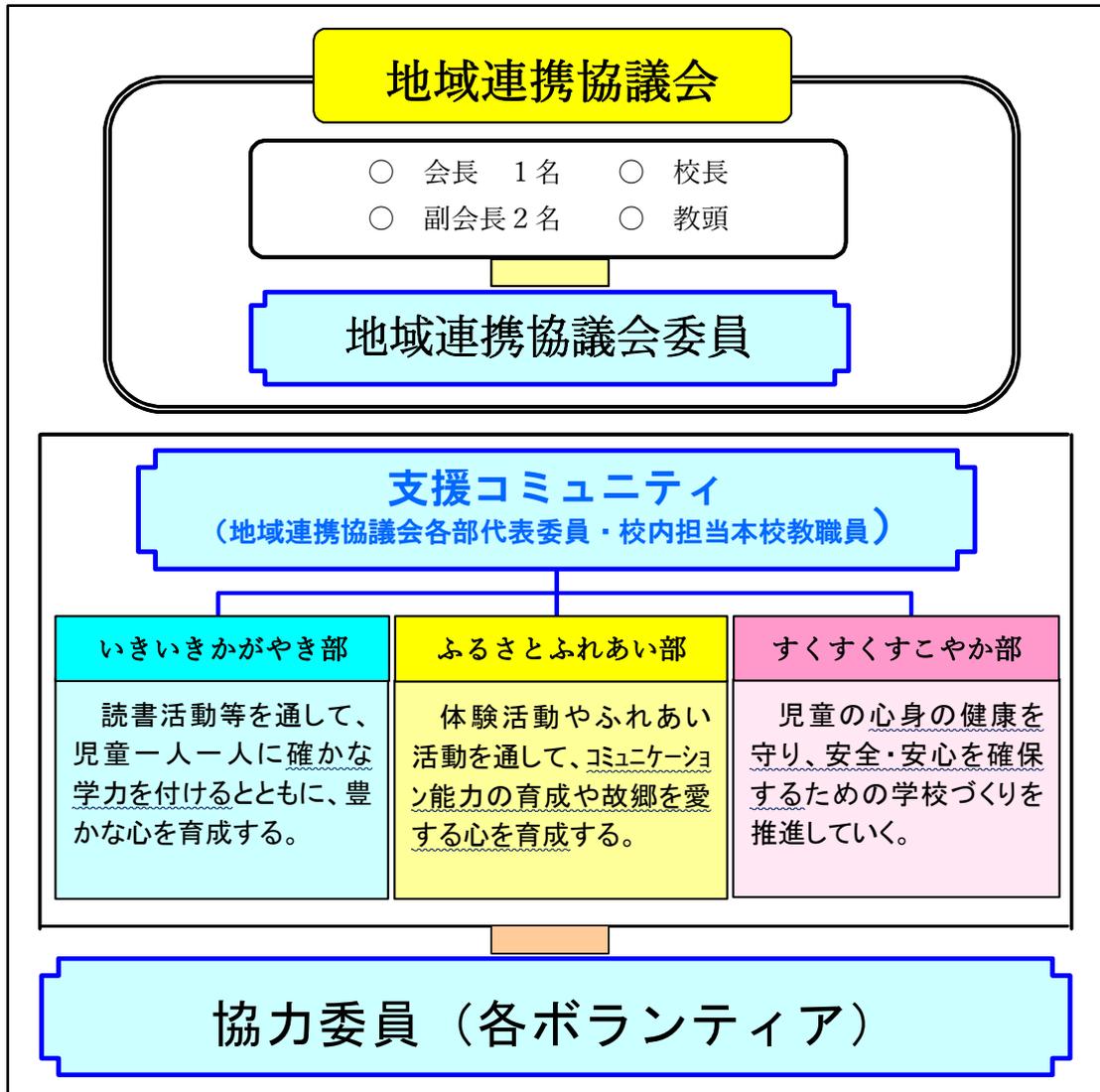
また、学校再開の日に、昼の校内放送で、「マスクをつけていて大きな声を出せないで、大きな声を出さなくても相手が喜ぶあいさつについて考えてみよう」と、子どもたちに宿題を出しました。

さあ、子どもたちはどんなあいさつを考えたか、今度たずねてみたいと思います。

清里版コミュニティースクール

前回は、熊本県教育委員会から出されている熊本版コミュニティースクールについての資料を載せました。清里小学校では、県のコミュニティースクールについての仕組みをもとに、清里小学校にあった熊本版コミュニティースクールの組織（清里小学校地域連携協議会）をつくりましたので紹介します。

清里小学校地域連携協議会（本校の協議会）組織



子ども見守り110番の家 お世話になります。

毎年7月、一斉下校の時にPTAの地域委員の皆様においでいただき、子どもたちと職員と一緒に、110番の家をお引き受けいただいている方へのご挨拶と、110番の家の確認を行っています。しかし、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご挨拶を控えます。もし、110番の家から外れたいという方がいらっしゃいましたら、学校（☎68-0191）までお知らせください。

世情不安の中、例年に比べて不審者情報をよく耳にします。また、夏休みに入ると、子どもたちは地域で過ごすこととなります。110番の家の皆様には、子どもたちの安全確保・見守り、よろしく願いいたします。

お願い

いらなくなった硬式のテニスボールがありましたら、学校にお譲りいただくと助かります。机や椅子の支柱の下につけ、音がしないようにするために使います。硬式のテニス部がある学校にお願いしていただいていたのですが、最近はなかなか手に入らなくて困っています。もし、お譲りいただけるボールがありましたら、学校（☎68-0191）までご連絡ください。よろしく願いいたします。